

thetaviewMaker

Automatic generation script for omnidirectional image viewing page
(全天球画像閲覧用WebページのHTMLコード自動生成スクリプト)

コマンド

```
$python make_thetaview_html.py [dir_path] [title]
```

- python 3.x 使用
- [dir_path] : 生成先のディレクトリのパス
- [title] : 生成する Web ページのタイトル
指定しなくても良い (その場合 **untitled** になる)

前提条件

- 生成先のディレクトリに **pics** ディレクトリが存在すること
pics ディレクトリに表示させたい画像を置く

処理結果

- リストページ **index.html** ファイル生成
- リストページ用スタイルシート **list.css** ファイル生成
- 閲覧ページ群 **view** ディレクトリ生成
- 閲覧ページ **[title].html** ファイルの生成

その他処理について

- 設定ファイル **setting.json** により表示内容の設定が可能
 - ~~filename or fn~~ : ~~画像ファイル名 and 表示名~~
 - ~~description or desc~~ : ~~画像の説明 (なくとも良い)~~
 - **bigtitle** or **bt** or **b** : Big Title

- **contents** or **c** : Contents
- **smalltitle** or **st** or **s** : Small Title
- **images** or **i** : omnidirectional image file name (without extension)
- bigtitle, smalltitle を設定しない場合は **other** となる

旧例)

```
[
  {
    "filename" : "test1",
    "description" : "説明1"
  },
  {
    "fn" : "test3",
    "desc" : "説明3"
  },
  {
    "fn" : "test4",
  }
]
```

新例)

```
[
  {
    "bigtitle" : "BIG_TITLE_1",
    "contents" : [
      {
        "smalltitle" : "SMALL_TITLE_1",
        "images" : ["img1", "img2"]
      }
    ]
  },
  {"b":"BIG", "c":[
```

```
        {"s": "SMALL1", "i": ["1", "2", "3", "4"]},  
        {"s": "SMALL2", "i": ["5", "6", "7", "8"]}  
    ]}  
]
```

- 説明 (description) がなくても、画像の表示順を設定したい場合は **setting.json** を記述する必要がある
- まず **setting.json** の記述順に表示され、その後それ以外の画像を名前順に表示される

注意

- MAC OS X 濁点問題
MAC OS X のファイルに日本語濁点を用いると、その文字列は2文字に分かれて扱われる。具体的には、「ゲ」は「ケ」と「゛」となる。これによりこのコードの文字列マッチングはうまくいかずにエラーの原因となっている。現状対応できていないため、MAC OS X 以外のOS でファイルの命名を行っていただきたい。
- pics, view ディレクトリのパーミッション
view ディレクトリに index.html(or .php)がないため、ディレクト内部が丸見えである。とりあえず、chmod コマンド等でパーミッションを変えておく。
今後、このコード内で pics, view ディレクトリ用の index.html を作成する方向でも考える。
- アップロードした画像のパーミッション
アップロードした画像のパーミッションが 400とかだと見れないので注意

TODO

- ☐ MAC OS X ファイル名濁点問題への対応
- ☐ .JPG への対応
- ☐ 他の画像フォーマットへの対応 (JPG, jpg, PNG, png)
- ☐ pics, view ディレクトリ内部丸見え問題への対応

- ☒ リスト表示の幅による列挙個数の調整表示
- ☒ リスト表示の際リサイズした画像を表示(通信量軽減)
- ☒ "filename", "description" を "fn", "desc" でも大丈夫にする
(filename, description は長い)
- ☐ JS の Warning を無くす (開発者ツールで確認)
- ☒ layout の修正
メニューの iframe をコンテンツの iframe より前に持ってきて float を調整
min-width をつけることや js でウィンドウに合わせた横幅の調整